

平成25年第4回定例会開催

広野町の未来へ 確かな歩みを

新年のごあいさつ

広野町議会議長 鈴木紀昭



2014年の年頭に
あたり、謹んで新年の
ごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から3
度目の新年を迎えまし
た。

原子力災害による影
響は、いまだに町民の
皆様に大きな不安を残
しております。

議会は、昨年、町民

の帰町促進や健康維持
増進などを重点に事業
展開した町を後押し、
ふるさとへ帰町するた
めの条件整備に努めま
した。

町内の学校やイベン
ト会場では多くの方で
にぎわい、子どもたち
の元気な姿も少しずつ
見られるようになって
きました。

この復興の歩みを確
かなものにしていかな
ければなりません。

そのためには、行政
と一体となり町民の皆
様の安全・安心をしっ
かり確保してまいりま
す。

今後とも、議員一同
ふるさとの誇りを胸
に、明るく元気な広野
町を目指し、一日も早

い復興・再生に鋭意努
力してまいります。

どうか本年も、より
一層のご指導、ご協力
を賜りますようお願い
申し上げますとともに、
本年が皆様にとっ
て幸せ多い年でありま
すよう、心よりご祈念
申し上げます。新年
のあいさつといたしま
す。

12月定例会

平成25年第4回定例
会を12月24・25日の会
期で開きました。

審議し、すべて原案ど
おり可決しました。

なお、一般質問では
7人の議員が、それぞ
れ町の対応や考えを問
いただきました。

件など18議案を慎重に

遠藤町長所信表明

～町政運営の5つの柱～

- 生活再建への取り組み強化
- 町的生活環境を整備
- 発展を促進し、新しい町づくり
- 町民の意見を町政に反映
- 教育の充実

私が取り組む町づくりは、町民の
皆様との合意を大切にした町民総参
加型の町づくりであります。今なお
多くの町民が町外での避難生活を
送っておりますが、避難している町
民全員が広野町への帰還を果たせる
よう、職員と共に一丸となって、全
力で取り組んで参ります。